

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第7部門第3区分
【発行日】平成18年3月23日(2006.3.23)

【公開番号】特開2006-42272(P2006-42272A)
【公開日】平成18年2月9日(2006.2.9)
【年通号数】公開・登録公報2006-006
【出願番号】特願2004-223462(P2004-223462)
【国際特許分類】

H 0 3 F 3/217 (2006.01)

【F I】

H 0 3 F 3/217

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月19日(2006.1.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

デジタル信号に対してD C (Direct Current) ディザを重畳させるディザ重畳手段と、
前記ディザ重畳手段によって前記D C ディザが重畳された前記デジタル信号を互いに逆
レベルとなるハイサイドとローサイドを形成する一対のドライブパルスに変換するスイッ
チング信号生成手段と、

前記スイッチング信号生成手段によって変換された前記ドライブパルスのハイサイドと
ローサイドのパルス幅の比率を可変することによって、前記D C ディザによって付加され
たD C (Direct Current) 成分を打ち消すキャンセル信号生成手段と

を備えることを特徴とするパワーアンプ装置。

【請求項2】

請求項1に記載のパワーアンプ装置であって、

前記キャンセル信号生成手段は、

前記ハイサイドのドライブパルスと前記ローサイドのドライブパルスとの一方に対して、
あるいは、両方のそれぞれに対して、

前記ドライブパルスを所定量遅延させる遅延手段を備え、

前記遅延手段からの遅延ドライブパルスと、遅延されていない前記ドライブパルスとの
論理演算を行って、前記ドライブパルスのパルス幅の比率を可変する
ことを特徴とするパワーアンプ装置。

【請求項3】

請求項1に記載のパワーアンプ装置であって、

前記キャンセル信号生成手段は、

前記スイッチング信号生成手段によって生成された前記ハイサイドと前記ローサイドの
前記ドライブパルスのスイッチングを行う閾値を調整する閾値調整手段を備え、

前記閾値調整手段によって前記ドライブパルスのパルス幅の比率を可変する
ことを特徴とするパワーアンプ装置。

【請求項4】

請求項1に記載のパワーアンプ装置であって、

一対のスイッチング素子がプッシュプル接続されて構成されるスイッチング手段
を備えることを特徴とするパワーアンプ装置。

【請求項 5】

デジタル信号に対して D C (Direct Current) ディザを重畳させるディザ重畳ステップと、

前記ディザ重畳ステップによって前記 D C ディザが重畳された前記デジタル信号を互いに逆レベルとなるハイサイドとローサイドを形成する一対のドライブパルスに変換するスイッチング信号生成ステップと、

前記スイッチング信号生成ステップによって変換された前記ドライブパルスの前記ハイサイドと前記ローサイドのパルス幅の比率を可変することによって、前記 D C ディザによって付加された D C (Direct Current) 成分を打ち消すキャンセル信号生成ステップと
を備えることを特徴とする D C 成分除去方法。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の D C 成分除去方法であって、
前記キャンセル信号生成ステップにおいては、
前記ハイサイドのドライブパルスと前記ローサイドのドライブパルスとの一方に対して、あるいは、両方のそれぞれに対して、
前記ドライブパルスを所定量遅延させ、
遅延させたドライブパルスと、遅延されていない前記ドライブパルスとの論理演算を行って、前記ドライブパルスのパルス幅の比率を可変することを特徴とする D C 成分除去方法。

【請求項 7】

請求項 5 に記載の D C 成分除去方法であって、
前記キャンセル信号生成ステップにおいては、
前記スイッチング信号生成ステップによって生成された前記ハイサイドと前記ローサイドのドライブパルスのスイッチングを行う閾値を調整する閾値調整ステップを備え、
前記閾値調整ステップによって前記ドライブパルスのパルス幅の比率を可変することを特徴とする D C 成分除去方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

上記課題を解決するため、請求項 1 に記載の発明のパワーアンプ装置は、
デジタル信号に対して D C (Direct Current) ディザを重畳させるディザ重畳手段と、
前記ディザ重畳手段によって前記 D C ディザが重畳された前記デジタル信号を互いに逆レベルとなるハイサイドとローサイドを形成する一対のドライブパルスに変換するスイッチング信号生成手段と、
前記スイッチング信号生成手段によって変換された前記ドライブパルスのハイサイドとローサイドのパルス幅の比率を可変することによって、前記 D C ディザによって付加された D C (Direct Current) 成分を打ち消すキャンセル信号生成手段と
を備えることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

また、請求項 2 に記載の発明のパワーアンプ装置は、請求項 1 に記載のパワーアンプ装置であって、
前記キャンセル信号生成手段は、

前記ハイサイドのドライブパルスと前記ローサイドのドライブパルスとの一方に対して、あるいは、両方のそれぞれに対して、

前記ドライブパルスを所定量遅延させる遅延手段を備え、

前記遅延手段からの遅延ドライブパルスと、遅延されていない前記ドライブパルスとの論理演算を行って、前記ドライブパルスのパルス幅の比率を可変することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

また、請求項3に記載の発明のパワーアンプ装置によれば、請求項1に記載のパワーアンプ装置であって、

前記キャンセル信号生成手段は、

前記スイッチング信号生成手段によって生成された前記ハイサイドと前記ローサイドの前記ドライブパルスのスイッチングを行う閾値を調整する閾値調整手段を備え、

前記閾値調整手段によって前記ドライブパルスのパルス幅の比率を可変することを特徴とする。